

新幹線脱線対策の進捗状況について

平成18年10月20日

平成17年3月の中間とりまとめに基づき検討されてきた逸脱防止対策等について、JR東日本及びJR東海より検討状況の報告があった。

① L型車両ガイドによる逸脱防止対策（JR東日本）

JR東日本において、本年10月より車両側の対策としてL型車両ガイドの設置、地上側の対策としてレール継目部（絶縁部）の強化等を行う。（別紙1）

② 脱線防止ガードと逸脱防止ストッパによる脱線・逸脱防止対策

（JR東海）

JR東海において、本年10月より地上側の対策として脱線防止ガード及び車両側の対策として逸脱防止ストッパを設置し、機能確認等を行う。（別紙2）